

整理 No.2018-14		労働災害状況調査表					
発生会社 事業所							
災害発生日時		平成 30 年 2 月 14 日 (水)		14 時 00 分		天気 (晴れ)	
災害区分		不休災害		休業災害 (休業見込み日数: 2 日)			
被災者	部門	生産・技術・営業・管理(事務)		雇用形態 (正社員) 派遣・請負・その他()			
	年齢	28 歳	性別: (男) 女	勤続年数	1年7ヵ月	経験年数	1年7ヵ月
	傷病名	病名 (捻挫)		部位(右足)			
	傷病部位	右足首					
災害発生状況	平成30年2月14日(水)14:00分頃 第二製造所プラントヤードから			状況概略(写真orイラスト)			
	第二製造所充填施設に戻る階段で地面に右足を着け様としたとき、						
	地面にあった製品用のフレキホースが目に入り、それを踏まない様						
	にと思っって着地したところ、右足首を捻ってしまいました。						
災害の型※1)		2,転倒		作業の形態(定常、非定常、その他())			
起因物:		フレキホース		特記事項: 特になし			
原因	1.人的要因(man):						
	階段、足元に対する危機感が欠如していた。通路上にフレキホースがあっても大丈夫だろうという過信があった。						
	2.物に関する要因(machine):						
	通路上にフレキホースが通ったまま作業をしていた。 フレキホースが通路にあった。						
3.環境要因(media):							
階段が高く降りるときに勢いがついてしまった。							
4.管理的要因(management):							
通路上にフレキホースが通ったまま作業し、不安全と思ったが改善をしなかった。							
対策	1. 階段の段差が高く下り難い為、現状一段だが二段に改善する。						
	2.階段を降りる際に、勢いがつかないように手摺りを付ける。						
	3.階段付近のフレキホースを歩行の際邪魔にならないよう階段の下を通す様にする。						
	対策分類※2) : 1-2,災害・事故の想定と対応 1-3,リスクアセスメント 1-4安全設計						
備考	類似箇所の摘出 :						